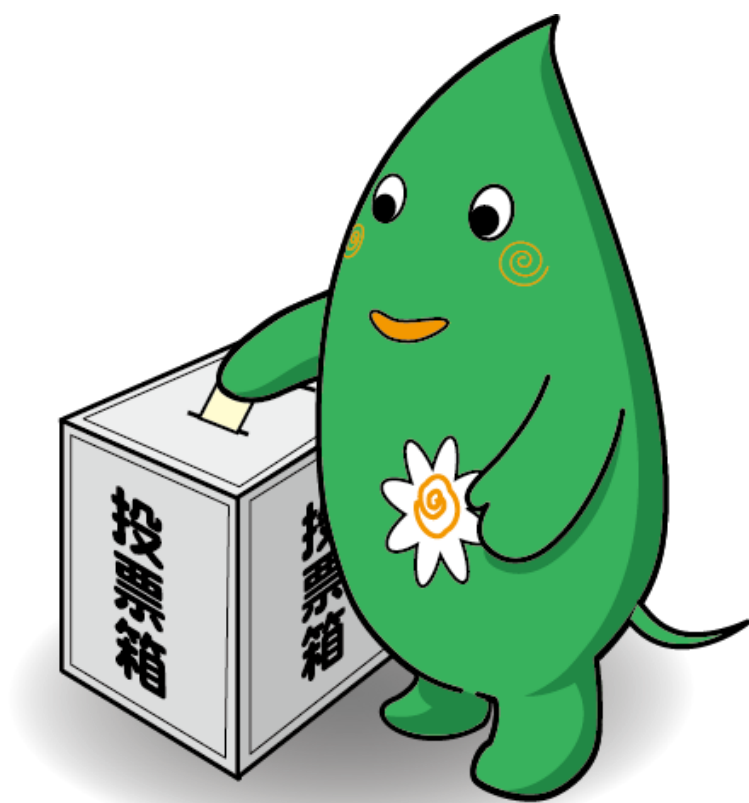


令和7年 政治と選挙の意識調査



大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

◇◆は じ め に◆◇

この調査は、大和市の有権者の皆さんの政治に対する関心や意見、選挙に対する意識や行動、政治教育に対するニーズなどを把握することを目的としており、毎年度、市内の有権者を対象とした意識調査を実施しています。

今年は、7月20日に第27回参議院議員通常選挙が執行されました。

今回の選挙は、投票率58.55%となり、前回の参議院選挙と比較すると6.38ポイント上昇しました。

期日前投票者数は49,922人となり、前回の参議院選挙と比べて12,860人上回りました。この結果からも期日前投票が選挙の仕組みとして有権者の皆さんに周知されてきているものと思います。

今回の調査は、参議院議員通常選挙の直前に作成されたアンケート調査ですので、今回の参議院議員通常選挙の結果やそれに伴う影響などは調査結果には反映されておりませんが、市民の皆さんが日々感じている政治や選挙についての意識や考えについて、具体的な質問を設け、市内在住1,000人の有権者を対象として実施しました。

また、今回は従来の紙の調査票に加え、e-kanagawa電子申請によるウェブ回答も可能とし、総回答数325件に対して、3分の1弱の94件がウェブからの回答となりました。

なお、調査結果は、私どもが今後の啓発活動を効果的に行っていくための貴重な資料として役立たせていただきます。この調査を通して有権者の皆さんが政治や選挙への興味と関心をさらに高めていただくきっかけや参考となれば幸いに存じます。

最後に大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会では、市民の皆さんに政治と選挙に関心をもっていただき、選挙の際には、ぜひ皆さんの一票を投じていただけるよう、今後の啓発活動に取り組んでまいります。

令和7年12月

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

目 次

1	調査の概要	1
2	回答者の構成	2,3
3	調査結果	4
	問 1 生活の満足度	4
	問 2 国政への満足度	5
	問 3 国政への関心度	6
	問 4 市政への関心度	7
	問 5 令和6年10月27日執行の衆議院議員総選挙について...	7
	問 5の1 候補者の選定において参考としたもの	8
	問 5の2 投票に行かなかった理由	8
	問 6 投票に行く頻度について	9
	問 7 投票に行く動機について	9
	問 8 政治への理解度について	10
	問 9 選挙への理解度について	10
	問 10 政治や選挙に関する教育について	11
4	意見・感想の集計	12、13
5	調査票	14、15
6	資料	16、17、18
	(1) 衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移(大和市)	16
	(2) 参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移(大和市)	16
	(3) 神奈川県知事選挙投票率の推移(大和市)	17
	(4) 神奈川県議会議員選挙投票率の推移(大和市)	17
	(5) 大和市長選挙投票率の推移	18
	(6) 大和市議会議員選挙投票率の推移	18

I 調査の概要

1 調査の目的

選挙において投票する際には、普段から政治について知識と関心を持ち、さらに「投票」という有権者としての意思表示に参加する意欲を持つことが必要です。この参加意欲の向上を図るために、選挙啓発活動は重要な役割を担っています。

有権者の政治や選挙に対する意識は、年代や性別などによりさまざまありますが、その違いを的確に把握することで、より効果的な選挙啓発活動を行うことが可能となります。

今回の調査は、有権者の生活や政治に関する意識のほか、選挙時の投票行動について調査したものであり、今後の選挙啓発活動に役立てるための資料とするものです。

2 調査の方法

- (1) 調査対象者：市内に居住する満18歳以上の男女
- (2) 調査対象者数：1,000人
 - ①20歳以上の有権者から800人
 - ②19歳の有権者から100人
 - ③18歳の有権者から100人
- (3) 抽出方法：選挙人名簿から無作為に抽出
- (4) 調査方法：郵便調査法（回答は郵便またはウェブ回答）

3 調査した事項

調査票のとおり（14・15ページ参照）

4 調査の実施時期

令和7年9月1日発送（令和7年9月30日締切）

5 調査票の回収数・回収率

- (1) 紙による回答：231
- (2) e-kanagawa 電子申請によるオンライン回答：94
総計：325
- (3) 回収率：32.5%

6 調査結果の集計

大和市選挙管理委員会のPCにより集計

7 調査結果の分析

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

8 調査の実施主体

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

2 回答者の構成

<年代>

	回答者数	比率
18～19歳	40	12.3%
20～29歳	19	5.8%
30～39歳	37	11.4%
40～49歳	37	11.4%
50～59歳	46	14.2%
60～69歳	50	15.4%
70～79歳	66	20.3%
80歳以上	28	8.6%
未回答	2	0.6%
計	325	100.0%

<性別>

	回答者数	比率
男性	136	41.8%
女性	163	50.2%
その他	2	0.6%
未回答	24	7.4%
計	325	100.0%

<最終学歴>

	回答者数	比率
中学校卒業	32	9.8%
高等学校卒業	112	34.5%
専門学校卒業	43	13.2%
短期大学卒業	19	5.8%
大学卒業	93	28.6%
大学院修了(修士)	11	3.4%
大学院修了(博士)	4	1.2%
その他	6	1.8%
未回答	5	1.5%
計	325	100.0%

<職業>

	回答者数	比率
会社員・団体職員	100	30.8%
会社役員	11	3.4%
公務員	14	4.3%
自営業・個人事業主	15	4.6%
パート・アルバイト	43	13.2%
フリーランス	7	2.2%
専業主婦(夫)・家事手伝い	43	13.2%
学生	35	10.8%
無職・求職中	42	12.9%
その他	12	3.7%
未回答	3	0.9%
計	325	100.0%

<居住地区>

	回答者数	比率
下鶴間・つきみ野	62	19.1%
中央林間・中央林間西	50	15.4%
南林間・林間・鶴間(2丁目)・西鶴間(1, 2, 6, 7, 8丁目)	39	12.0%
鶴間(1丁目)・西鶴間(3, 4, 5丁目)	12	3.7%
上草柳・桜森	15	4.6%
深見・深見西・深見東・深見台・大和東・大和南	35	10.8%
中央・草柳(1, 2丁目)・下草柳	22	6.8%
草柳(3丁目)・柳橋・福田(1~8丁目)	16	4.9%
上和田(上和田団地を除く)	16	4.9%
上和田団地・下和田・いちょう団地	10	3.1%
福田(地番)・渋谷・代官	45	13.8%
未回答	3	0.9%
計	325	100.0%

<居住年数>

	回答者数	比率
1年未満	2	0.6%
1年以上5年未満	51	15.7%
5年以上10年未満	51	15.7%
10年以上20年未満	71	21.8%
20年以上30年未満	43	13.2%
30年以上	104	32.0%
わからない	1	0.3%
未回答	2	0.6%
計	325	100.0%

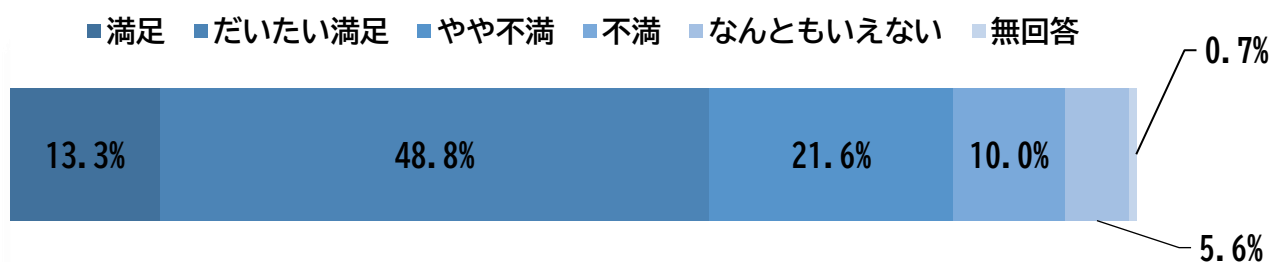
<投票所までの所要時間>

	回答者数	比率
5分未満	74	22.8%
5分以上10分未満	134	41.2%
10分以上20分未満	77	23.7%
20分以上	17	5.2%
わからない	5	1.5%
未回答	18	5.5%
計	325	100.0%

3 調 査 結 果

生活の満足度

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか？

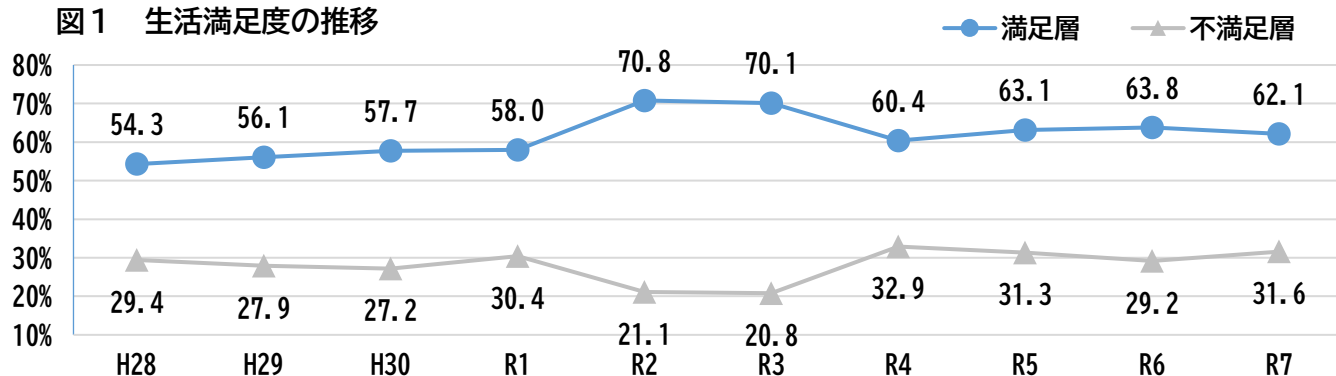


問1は、現在の生活の満足度について問う設問でしたが、満足層（1と2を回答した人）は、前年と比較して、1.7ポイント減の62.1%、また、不満層（3と4を回答した人）は2.4ポイント増で31.6%でした。

図1は、直近10年間の推移を示したものです。直近10年間の推移を見てみると、満足層は、令和2年度に最高値に達したものの、令和4年度にはそこから約10ポイント下落し、その後は現在と同様の60%台で推移しています。

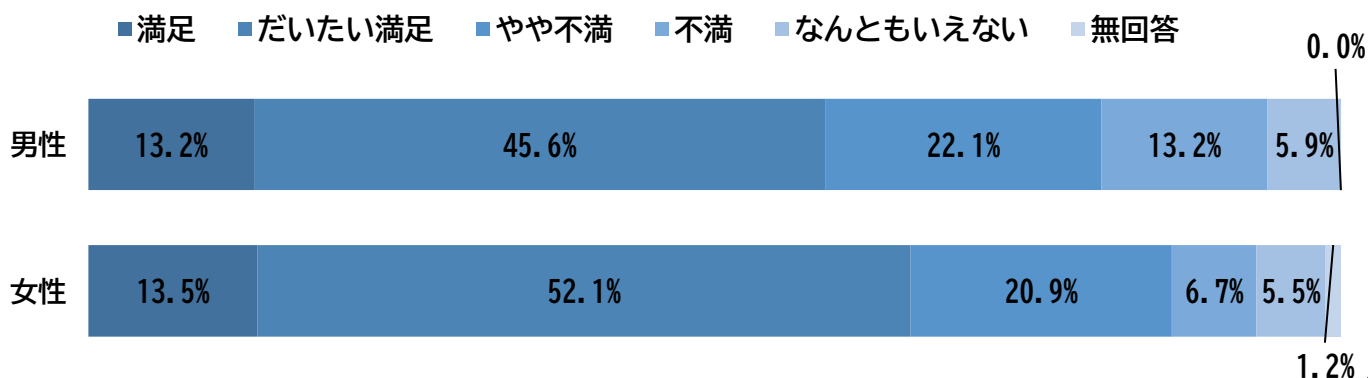
一方、不満層は、令和3年度には最低値に達したものの、令和4年度からは10ポイント以上増加して30%台となり、以降は緩やかな減少傾向となっています。

図1 生活満足度の推移



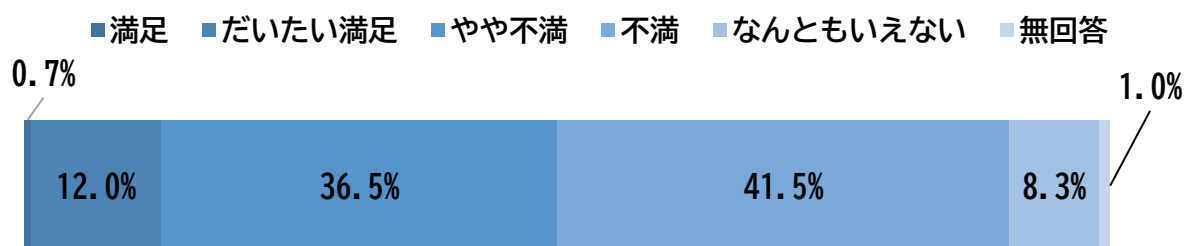
また、図2の男女別をみると、満足層は男性58.8%、女性65.6%で、不満層は男性35.3%、女性27.6%と、前年度の調査とは違い、女性の満足度が高い結果となりました。

図2 男女別生活の満足度



国政への満足度

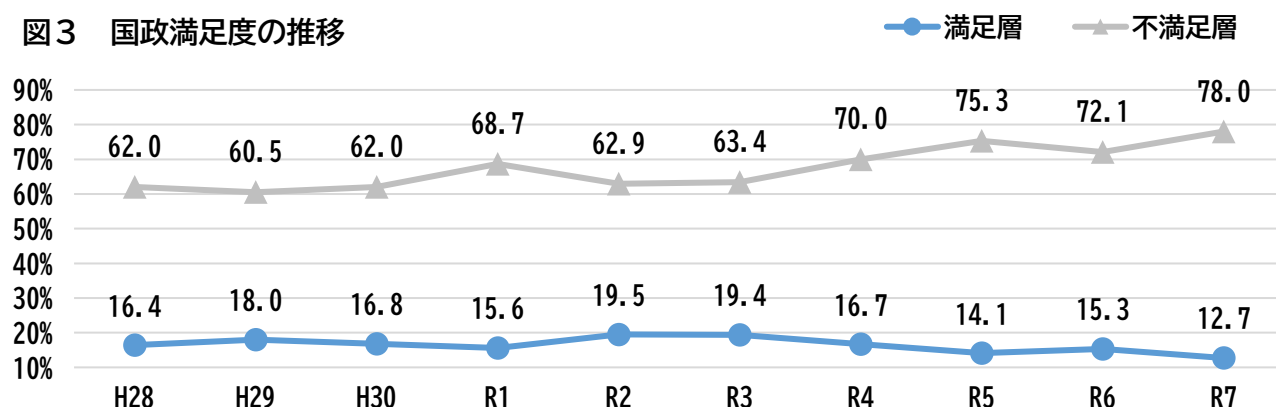
問2 あなたは、現在の国の政治についてどう感じていますか。



問2は、現在の国の政治についての満足度について問う設問でしたが、満足層（1と2を回答した人）は、前年より2.6ポイント減少して12.7%であるのに対し、不満足層（3と4を回答した人）は、前年より5.9ポイント増加し78%と、前年度の結果と比べると、国政に対する不満は少し増加した形となりました。

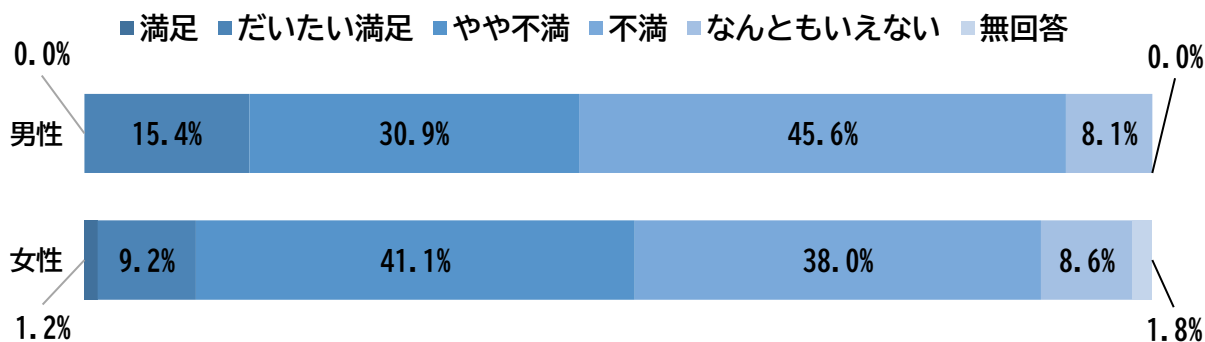
図3は、直近10年間の推移を示したものです。直近10年間の推移を見てみると、満足層は直近で言えば令和2・3年には19%台と比較的高めに推移していたものの、令和4年からは減少傾向にあり、今年の結果では過去最低を記録しています。また、不満足層については、平成27年から60%台で推移していましたが、令和4年からは70%を超え、今年は過去最高を記録しています。

図3 国政満足度の推移



また、図4を見ると、男女別では、満足層は男性15.4%、女性は10.4%で、不満足層は男性76.5%、女性79.1%という結果となりました。男女で見ると、男性に比べて女性の方が国政への不満を感じているということが分かります。

図4 男女別国政への満足度

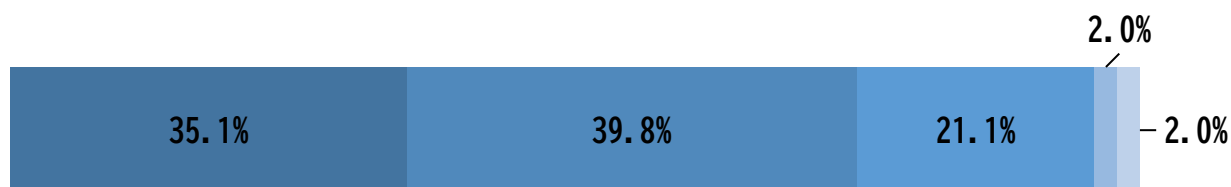


また、問1と比較して、自身の生活については約半数が満足しているものの、8割近くの方が国政への不満を示しているようです。

国政への関心度

問3 あなたは、国の政治に関心がありますか。

■ある ■どちらかというところ ■あまりない ■まったくない ■無回答

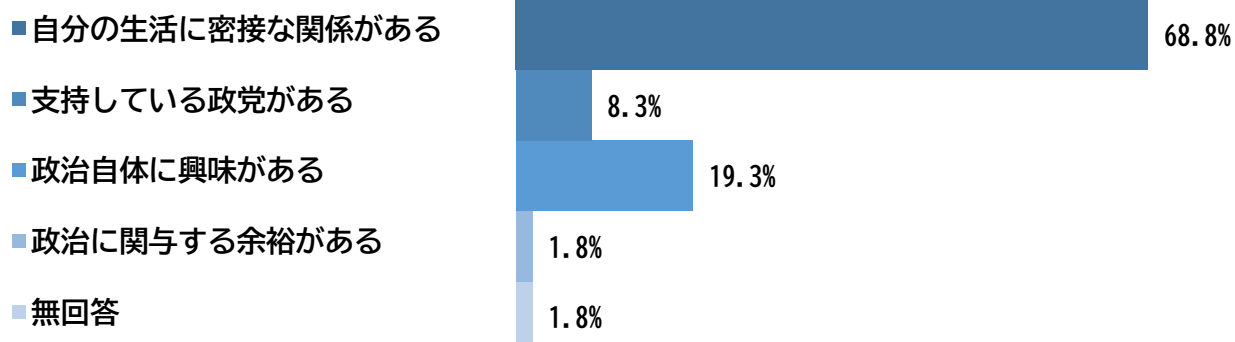


問3は、国の政治への関心度を問う設問でしたが、国の政治に関心がある人（1と2を回答した人）は74.9%と、約7割強の方が国の政治に関心を持っていることが分かります。

関心をもっている理由としては、「自分の生活に密接な関係があるから」が68.8%と、毎年高い結果となっています。

問3の1 その理由はなんですか。

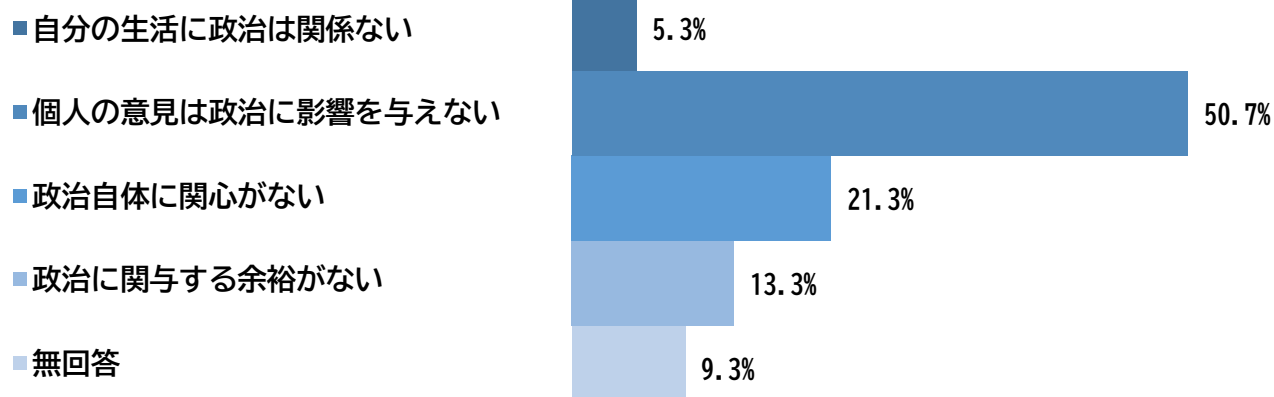
【関心層】



一方、無関心層では「個人の意見は政治に影響を与えないから」が50.7%で最も高く、続いて、「政治自体に関心がないから」が21.3%と、政治への関心というよりは、個人の意見が政治に与える影響について考える方が多い印象です。

問3の2 その理由はなんですか。

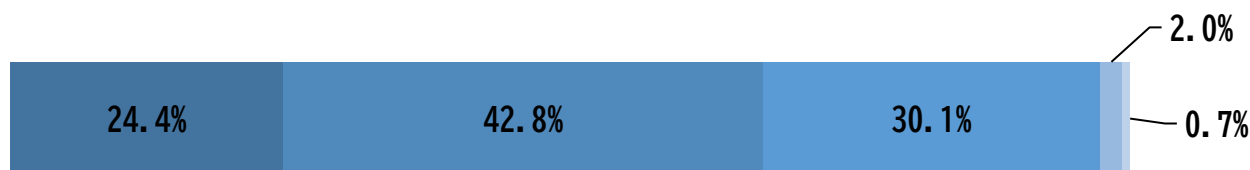
【無関心層】



市政への関心度

問4 あなたは、市政に関心がありますか。

■ 関心ある ■ どちらかというところ ■ あまりない ■ まったくない ■ 無回答



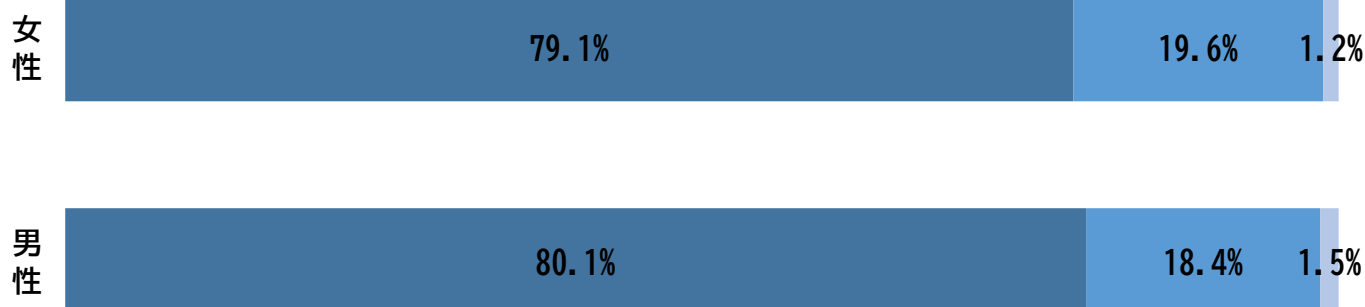
問4は、市政についての関心度を問う設問でしたが、市政に関心がある人（1と2を回答した人）は67.2%と、約7割の方が市政に関心を持っていることが分かります。

国政への関心度合と、市政への関心度合にそれ程大きな差はないことが分かります。

令和6年10月27日執行の衆議院議員総選挙での投票について

問5 令和6年10月27日執行の衆議院議員総選挙の投票に行きましたか？

■ 行った ■ 行かなかった ■ 無回答



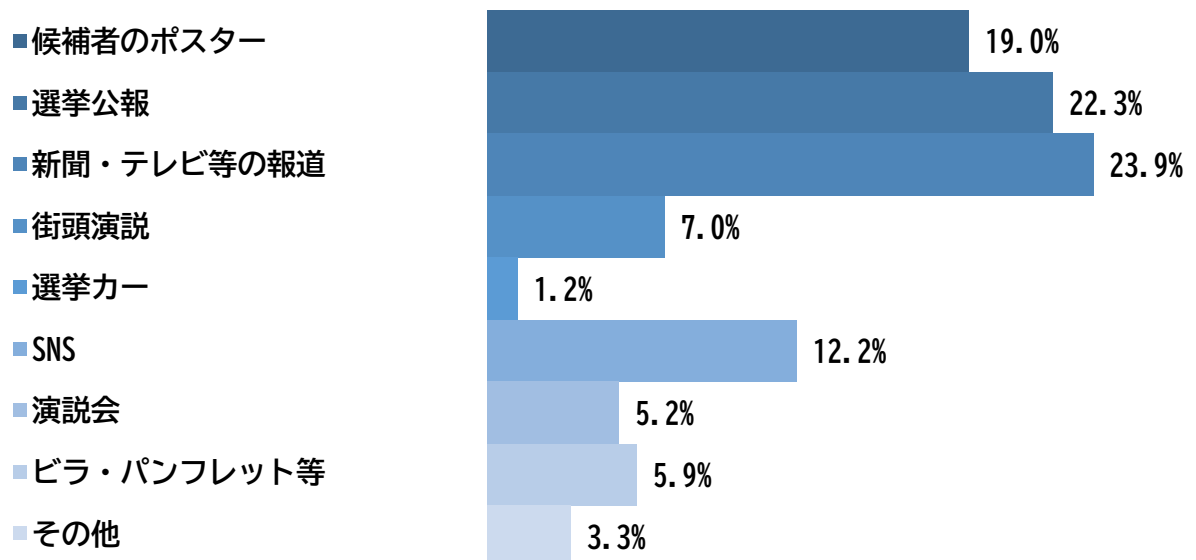
問5は、令和6年10月27日に執行された衆議院議員総選挙の投票についての設問です。

男女ともに約8割の方は投票に行っており、約2割の方が投票に行かなかったと答えています。

ちなみに、今回の衆議院議員総選挙の大和市での投票率は52.57%でした。

今回の調査にご協力いただいた方々の投票率は、市全体の投票率よりも高かったようです。

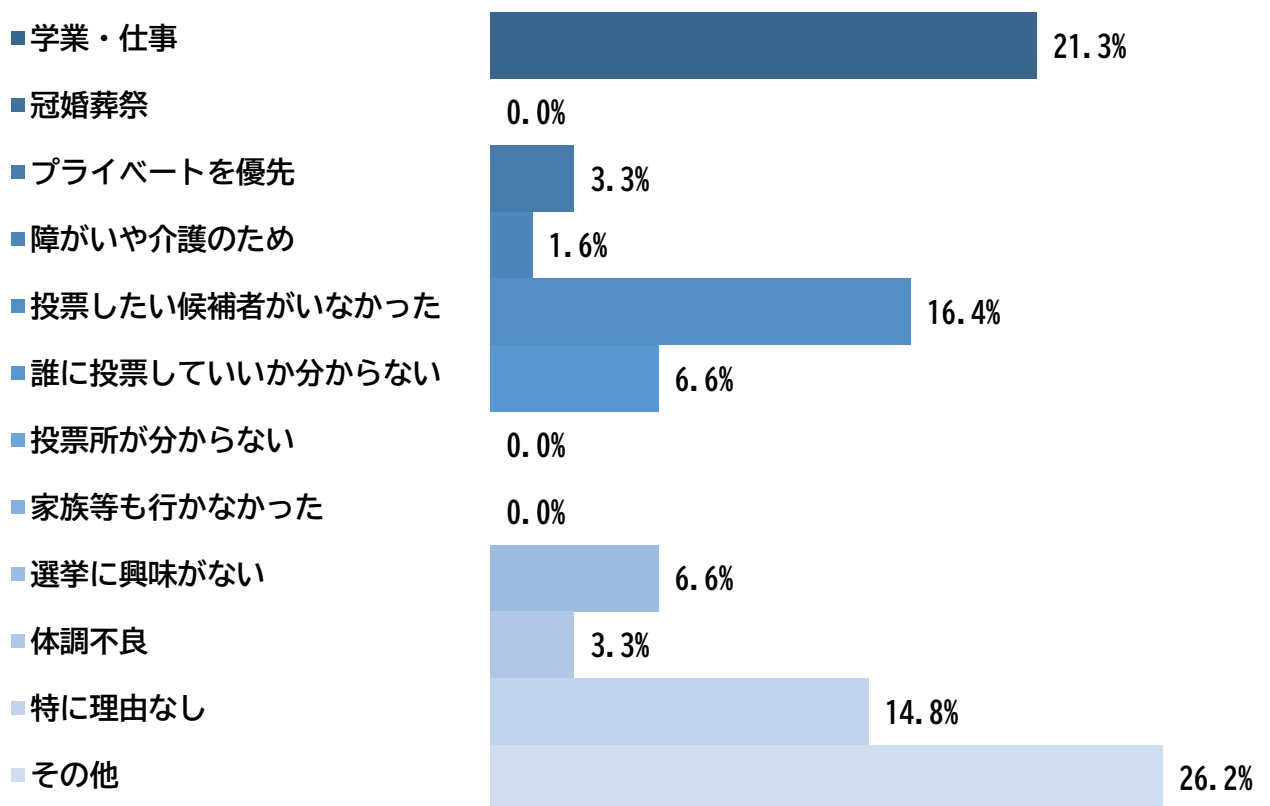
問5の1 候補者を決める際、参考にしたものはどれですか？



問5の1は、問5で「投票に行った」と答えた方に、候補者を選ぶ際、有権者が何を参考として候補者を選んでいるかを問う設問です。

一番多かったのは、「新聞・テレビ等の報道」が23.9%、次に「選挙公報」が22.3%、3番目に「候補者のポスター」が19%でした。

問5の2 投票に行かなかった理由として、あてはまるものはどれですか？



問5の2は、問5で「投票に行かなかった」と答えた方に、その理由について問う設問です。

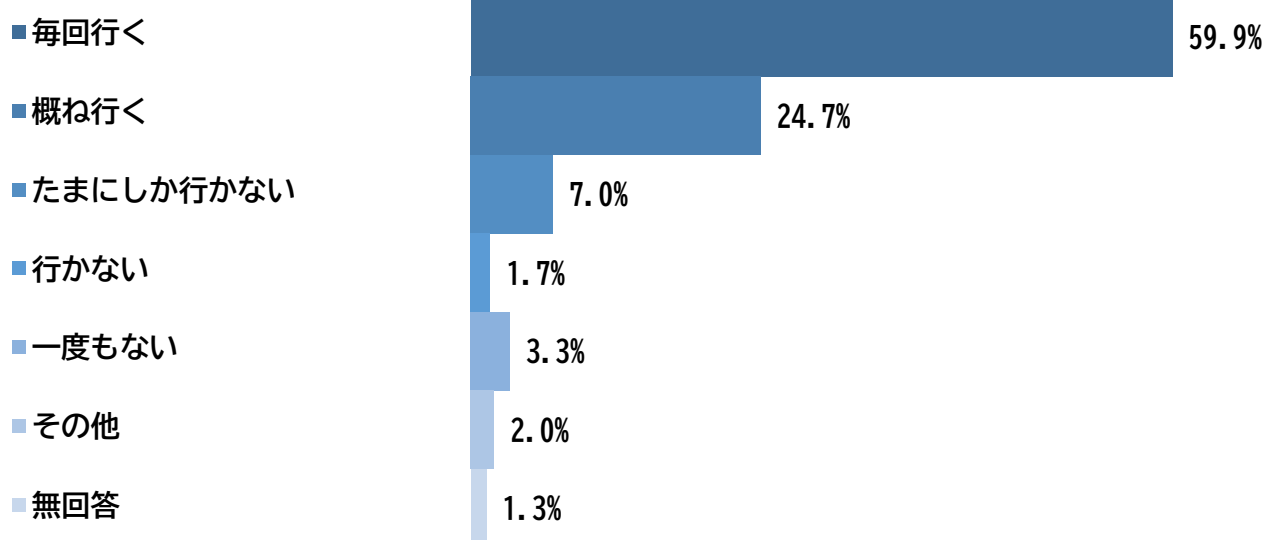
一番多かったのは、「その他」が26.2%、次に多かったのは「学業・仕事」が21.3%、3番目が「投票したい候補者がいなかった」が16.4%でした。

「その他」の回答の中には、「自身が入院していたから」や「入場整理券が届かなかったから」という理由も挙がっています。

たとえば入院中であれば不在者投票制度、仕事や学業で忙しくて投票に行けないようであれば、期日前投票制度、投票所入場整理券が届かなくても投票ができることなど、制度や仕組みに対する理解がまだまだ広く周知されていないことが課題として挙げられます。

投票の行動の分析

問6 投票に行く頻度について

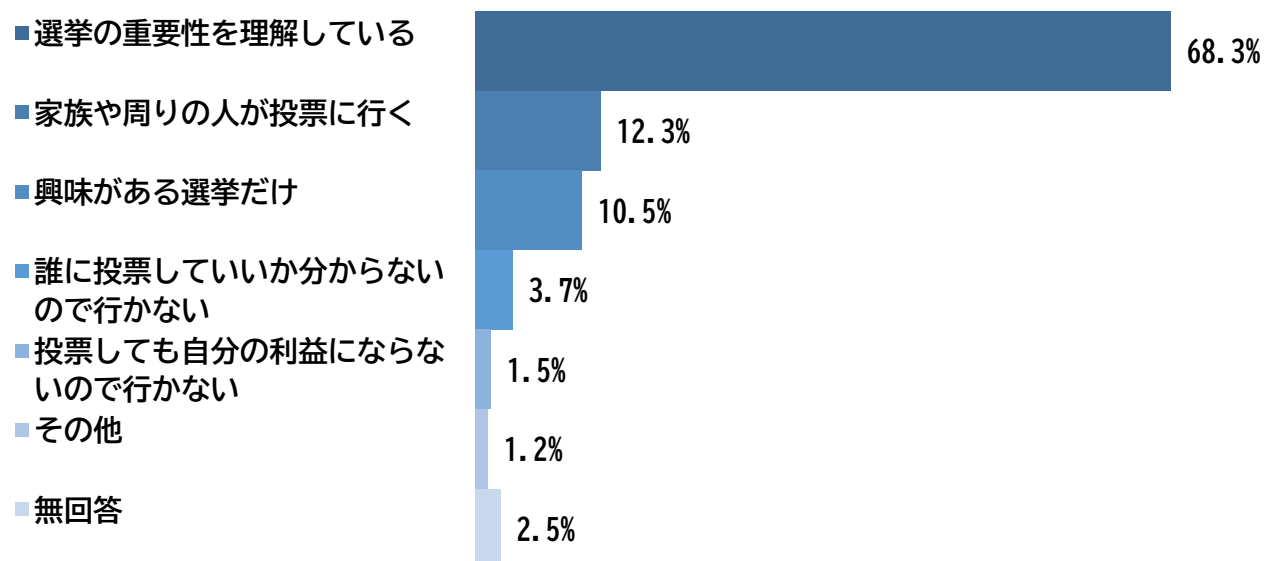


問6は、投票に行く頻度について問う設問です。

上記の結果を見ると、約8割の方が毎回または概ね投票に行くと回答しています。

「その他」の回答の中には、「今回の参議院選挙（令和7年7月20日執行）で初めて投票に行った。これからは投票に行く予定。」とポジティブな回答をした方もいました。

問7 投票に行く動機について

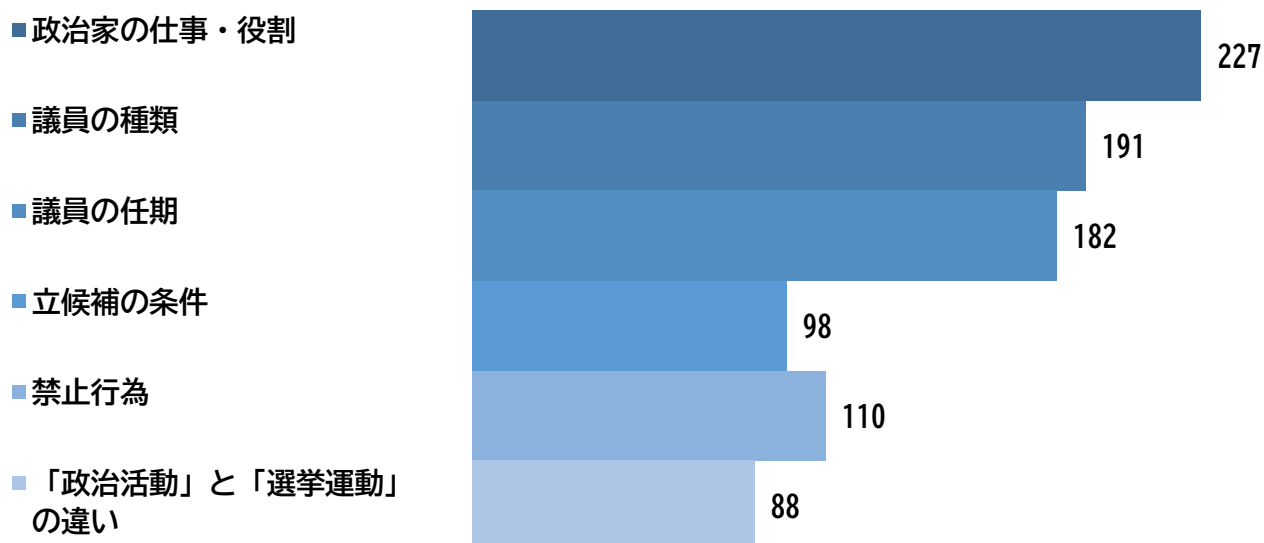


問7は、投票に行く動機について問う設問です。

上記の結果を見ると、約7割の方は「選挙が重要である」という認識を持ち、投票に行っているようです。

政治についての理解度

問8 政治への理解度について



問8は、政治の知識や理解度について問う設問です。

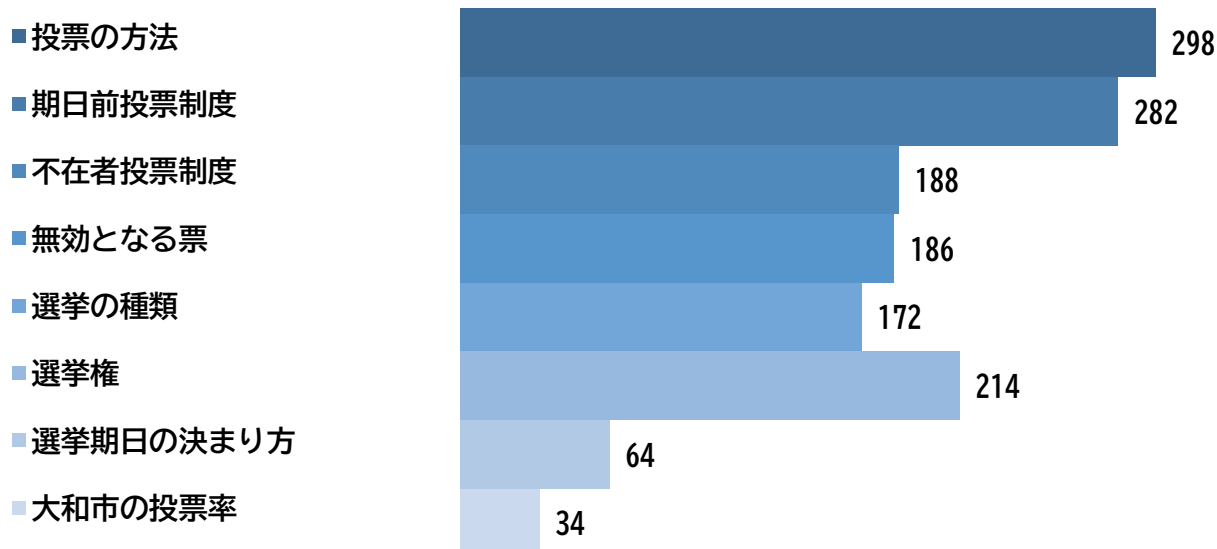
「政治家の仕事・役割」については、多くの方が理解をしているようです。

また、「議員の種類」（衆議院議員、参議院議員、都道府県議会議員、市区町村議会議員など）についてや、同じくその任期についても、ご存知の方が多い印象です。

逆に、「禁止行為」「立候補の条件」「政治活動」と「選挙運動」の違いについては、先程挙げた回答よりも低い回答数となっています。

選挙についての理解度

問9 選挙への理解度について



問9は、選挙の知識や理解度について問う設問です。

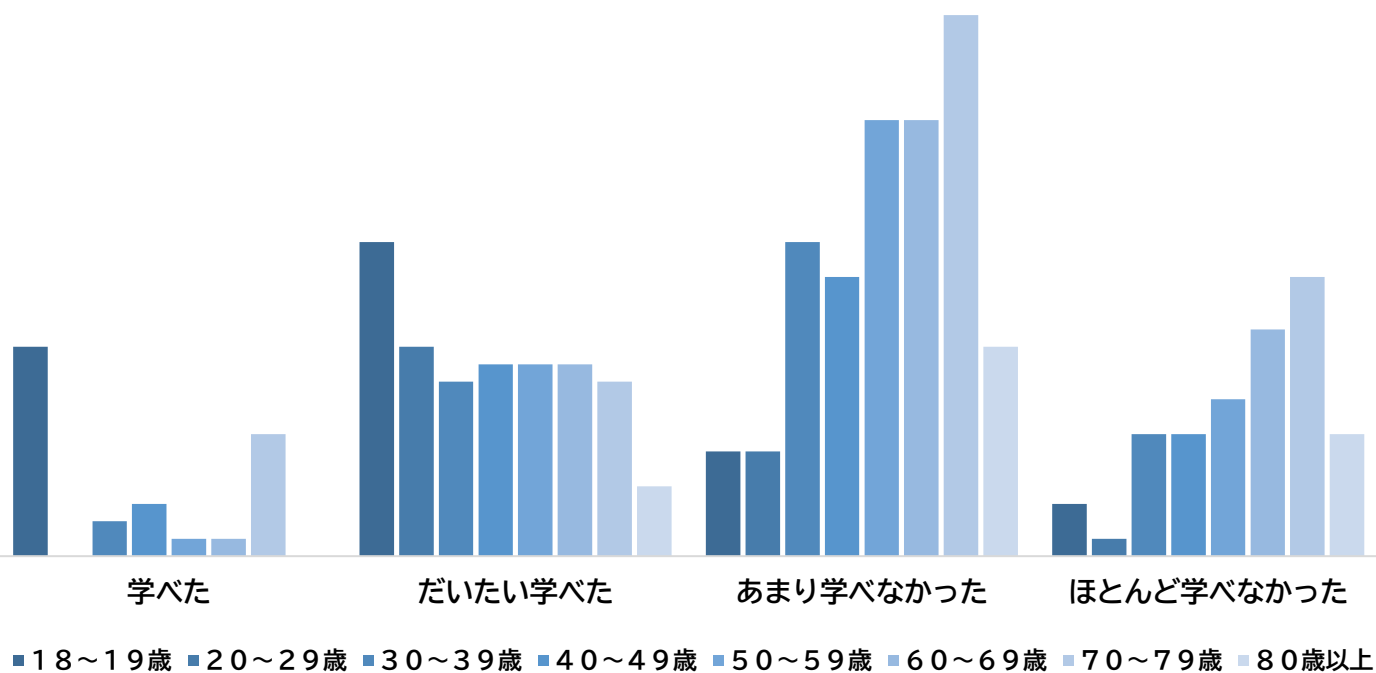
「投票の方法」「期日前投票制度」については、ほとんどの方が理解されているようです。

ただ、それと比べて「不在者投票制度」や「無効となる票」、「選挙の種類」についての理解は少し少ないようです。

「大和市での投票率」についても、問4で約7割近くの方が市政に関心を持っていると回答していることに対して、投票率についてはほとんどの方が関心を持っていないようです。

政治や選挙に関する教育の充足度

問10 政治や選挙に関する教育について



問10は、政治や選挙に関して教育機関で受けた教育の充足度について問う設問です。

上記の結果を見ると、18～19歳の有権者になりたての若年層については、「学べた」「だいたい学べた」という回答が多かったため、近年の主権者教育への力の入れようが伺えます。その成果もあってか、直近の国政選挙での投票率は増加しています。

ただ、それと比べて50、60、70歳代の方は「あまり学べなかった」「ほとんど学べなかった」という回答数が多い傾向にありますが、それでもこの年代の方々の投票率は、軒並み平均を越えています。

この結果からみると、単に政治や選挙の学習の充足度を上げるだけにとどまらず、その他にも投票率を上げるための要因があるのではないかと考えられます。

4 意見・感想の集計

自由意見の集計(72件)

意識調査にご協力をいただいた方で、意見・感想をご記入いただいたものについて、分類いたしました。

1. 分類(カテゴリ別)

- 政治・政治家全般への不満・不信
- 生活・経済・税負担・社会保障(年金・子育て等)
- 市政・大和市(財政、市立病院、基地周辺、コミュニティバスなど)
- 選挙制度・選挙運動(ポスター・選挙カー・不正疑念など)
- 投票環境・投票所(期日前投票所、駐車場、猛暑時期など)
- 情報提供・メディア・SNS・メディアリテラシー
- 若年層の投票率・主権者教育(学校での授業、模擬投票等)
- インセンティブ・啓発(割引券、投票済証のデザインなど)
- 政治への期待・要望(長期視点、公正・誠実さ、庶民目線など)
- その他

2. 主なカテゴリ別の内容要約

政治・政治家への不信・不満

- 政治家が私利私欲や利権で動いている、法律を守らない、国民を軽視しているといった強い不満
- 公約が守られない、増税ばかりで生活は楽にならない、誰を選んでも同じ、生活が良くならないという諦めや不信感

生活不安・税・社会保障

- 物価高や生活の苦しさ、将来の生活費・結婚・一人暮らしへの不安など、「暮らしの不安定さ」
- 税金を取り過ぎ、使い方がおかしい、受注業者が儲けすぎ、子ども扶養控除の復活や社会保険・年金制度の見直し
- 子育て世帯だけでなく、現役世代・高齢者にも配慮を、という世代間バランスへの要望

市政・大和市固有の意見

- 大和市が財政赤字であることへの不安、シリウス・ポラリスなど大型施設への批判や、税金の有効活用を求める意見
- 桜森地区など、市境・基地周辺の振動被害や交通不便(コミュニティバスの路線拡充要望)など、地域固有の課題
- 市立病院の人材・資金不足、中央林間駅周辺の喫煙マナー問題など、選挙以外の市政課題

選挙制度・選挙運動

- ポスター掲示板・ポスター乱用、名前連呼型の選挙カーなど、従来型の選挙運動を「費用対効果が低い」「うるさい」として見直すべきという意見
- 選挙当日、締め切り前に結果が出ることへの疑問、不正投票や不正選挙対策、開票の公開など「公正さ」への不安

投票環境・投票所

- 期日前投票所が近くて便利、スタッフが親切でわかりやすいといった好意的な評価がある一方で、場所が遠くて諦めた経験や、投票所の近くに駐車場がないことへの不満
- 夏の投票日は暑さで体への負担が大きい、期日前投票所の増設を望む声など、物理的な投票しやすさに関する意見

情報提供・メディア・SNS

- 大和市から立候補している候補者の主張が調べにくい、候補者情報をわかりやすく、具体的に示してほしいという要望
- SNS のデマ拡散やフェイク、政党間の対立煽りへの懸念、メディアリテラシー教育の必要性を指摘
- SNS やショート動画など、若年層が日常的に触れる媒体で、政策や実績を分かりやすく伝える工夫を要望する声

若年層投票率・主権者教育

- 若い世代の投票率の低さを心配し、学校での主権者教育や、政治・選挙を身近に感じられる授業・模擬投票の実施などを求める声
- 特別支援学校での模擬投票授業の実践例があり、投票箱の貸出や出前授業など、市との連携による主権者教育の強化を提案

インセンティブ・啓発

- 投票したら店の割引券が欲しい、投票済証明書をキャラクターとコラボしたデザインにしてほしい、他自治体（墨田区・横浜市長選など）の事例紹介があり、楽しさ・話題性を持たせた啓発策の提案
- 投票することの意義を、より多くの市民に理解してもらう必要性の訴求

政治への期待・要望

- 100 年・50 年先を見据えた長期的な視点で、初心を忘れず、公正・誠実に政治に向き合ってほしいという期待
- 庶民の生活感覚に根ざした政策、弱者や障害のある人も安心して暮らせる社会、明るい未来・子育てしやすい社会への希望
- 国や自治体が「自ら稼ぐ」形の財政運営を模索すべきといった、制度設計レベルの提案

5 調 査 票

令和7年度

政治と選挙の意識調査

《回答及び郵送についてのお願い》

- 必ずご本人が回答してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。(○の個数は設問によって違います。)
- 設問は上から順に回答してください。指示がある場合は、それに従ってください。
- 回答が終わりましたら、お手数ですが同封の返信用封筒にて9月30日(火)までにご投函・ご返送ください。
- 右のQRコードからウェブでの回答も可能です。

大和市明るい選挙推進協議会

大和市選挙管理委員会事務局

電話:046(260)5542

受付時間:月曜日～金曜日 ※土、日、祝日を除く
9:00～12:00、13:00～17:00)

回収順番号



■ 最初にあなた自身のことについてお聞かせください。

性 別	1 男性	2 女性	3 その他	
年 代	1 18～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上
最終学歴	1 中学校卒業	2 高等学校卒業	3 専門学校卒業	4 短期大学卒業
	5 大学卒業	6 大学院修了(修士)	7 大学院修了(博士)	8 その他
職 業	1 会社員・団体職員	2 会社役員	3 公務員	4 自営業・個人事業主
	5 パート・アルバイト	6 フリーランス	7 専業主婦(夫)・家事手伝い	8 学生
	9 無職・求職中	10 その他()		
居住地区	1 下鶴間・つきみ野		2 中央林間・中央林間西	
	3 南林間・林間・鶴間(2丁目)・西鶴間(1丁目、2丁目、6丁目～8丁目)		4 鶴間(1丁目)・西鶴間(3丁目～5丁目)	
	5 上草柳・桜森		6 深見・深見西・深見東・深見台・大和東・大和南	
	7 中央・草柳(1丁目、2丁目)・下草柳		8 草柳(3丁目)・柳橋・福田(1丁目～8丁目)	
	9 上和田(上和田団地を除く)		10 上和田団地・下和田・いちよう団地	
	11 福田(地番)・渋谷・代官			
現住所の居住年数	1 1年未満	2 1年以上5年未満	3 5年以上10年未満	4 10年以上20年未満
	5 20年以上30年未満	6 30年以上	7 わからない	
投票所までの所要時間	1 5分未満	2 5分以上10分未満	3 10分以上20分未満	4 20分以上
	5 わからない	※自宅から徒歩で向かった場合の所要時間をお答えください。		

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 満足している
- だいたい満足している
- やや不満である
- 不満である
- なんともいえない

問2 あなたは、現在の国の政治についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 満足している
- だいたい満足している
- やや不満である
- 不満である
- なんともいえない

問3 あなたは、国の政治に関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

※選んだ回答によって次の設問が変わりますので、ご注意ください。

- 関心がある
 - どちらかというと関心がある
 - あまり関心がない
 - まったく関心がない
- (1、2と回答された方は 問3の1へ) (3、4と回答された方は 問3の2へ)

(問3の1) その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 自分の生活に密接な関係があるから
- 支持している政党があるから
- 政治自体に興味があるから
- 政治に関与する余裕があるから

(問3の2) その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 自分の生活に関係がないから
- 個人の意見は政治に影響を与えないから
- 政治に興味がないから
- 政治に関与する余裕がないから

問4 あなたは、市政に関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

- 関心がある
- どちらかというと関心がある
- あまり関心がない
- まったく関心がない

(裏面にも設問がありますので、ご協力をお願いいたします。)

問5 あなたは、令和6年10月27日執行の衆議院議員総選挙の投票に行きましたか。どちらか1つ選んでください。
※この問の結果で、次の設問が変わりますので、ご注意ください。

- 1 投票に行った（問5の1へ） 2 投票に行かなかった（問5の2へ）

問5の1（問5で「1 投票に行った」と答えた方のみお答えください。「2 投票に行かなかった」と答えた方は、問5の2へお進みください。）
投票した候補者を決める際に参考にしたものはどれですか。（あてはまるものをすべてに○をつけてください）

- 1 街中に貼られている候補者のポスター 2 選挙公報
3 新聞、テレビ等の報道 4 候補者や政党等が街頭で行う演説
5 選挙カー 6 SNS (X, (旧 Twitter), YOUTUBE, Instagram, TikTok, LINE など)
7 候補者や政党等が行う演説会 8 選挙運動用ビラ、パンフレット、機関紙
9 その他（ ）

問5の2（問5で「2 投票に行かなかった」と答えた方のみお答えください。「1 投票に行った」と答えた方は、問6へお進みください。）
あなたが投票に行かなかった理由として、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 学業・仕事で忙しかったため 2 冠婚葬祭へ出席していたため
3 プライベートな予定を優先したため 4 身体的な障がいや介護が必要な状態であるため
5 投票したい候補者がいかなかったため 6 誰に投票していいかわからなかったため
7 投票所の場所がわからなかったため 8 家族や同居の方も投票に行かなかったため
9 選挙自体に興味がないため 10 体調不良であったため
11 特に理由はない 12 その他（ ）

問6 あなたが投票に行く頻度について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 毎回欠かさず投票している 2 何回か投票に行けない時もあったが、概ね投票している
3 たまにしか投票に行かない 4 投票に行かない
5 今まで一度も投票に行っていない 6 その他（ ）

問7 あなたが投票に行く動機について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 選挙の重要性を理解し、必ず行くようにしている 2 家族や周りの人が投票に行くので、自分も行くようにしている
3 興味がある選挙には行くが、それ以外は行かない 4 興味がない、誰に投票していいかわからないので行かない
5 投票しても自分の利益にならないので、行かない 6 その他（ ）

問8 あなたの政治についての理解度をお尋ねします。次の中から「知っている」と思うものをすべてに○をつけてください。
（政治について）

- 1 政治家の仕事、役割について 2 議員の種類について
3 議員の任期について 4 立候補にあたっての条件について（年齢、供託金など）
5 禁止行為について 6 「政治活動」と「選挙運動」の違いについて

問9 あなたの選挙についての理解度をお尋ねします。次の中から「知っている」と思うものをすべてに○をつけてください。
（選挙について）

- 1 投票所での投票方法について 2 期日前投票制度について
3 不在者投票制度について 4 無効として扱われる票について
5 選挙の種類について 6 選挙権について
7 選挙期日（投票日）の決まり方について 8 大和市での各選挙の投票率について

問10 あなたが教育機関で受けてきた政治や選挙に関する教育について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 学ぶことができた 2 だいたい学ぶことができた
3 あまり学ぶことができなかった 4 ほとんど学ぶことができなかった

設問は以上となります。ご回答ありがとうございました。

なお、調査結果は、私どもが今後の啓発活動を効果的に行っていくための貴重な資料として役立たせていただきます。
この調査を通して有権者の皆さんが政治や選挙への興味と関心をさらに高めていただくきっかけや参考となれば幸いです。
最後に大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会は、市民の皆様が政治と選挙に関心をもっていただき、
選挙の際にはぜひ皆さまの一票を投じていただけるよう、今後の啓発活動に取り組んでまいります。

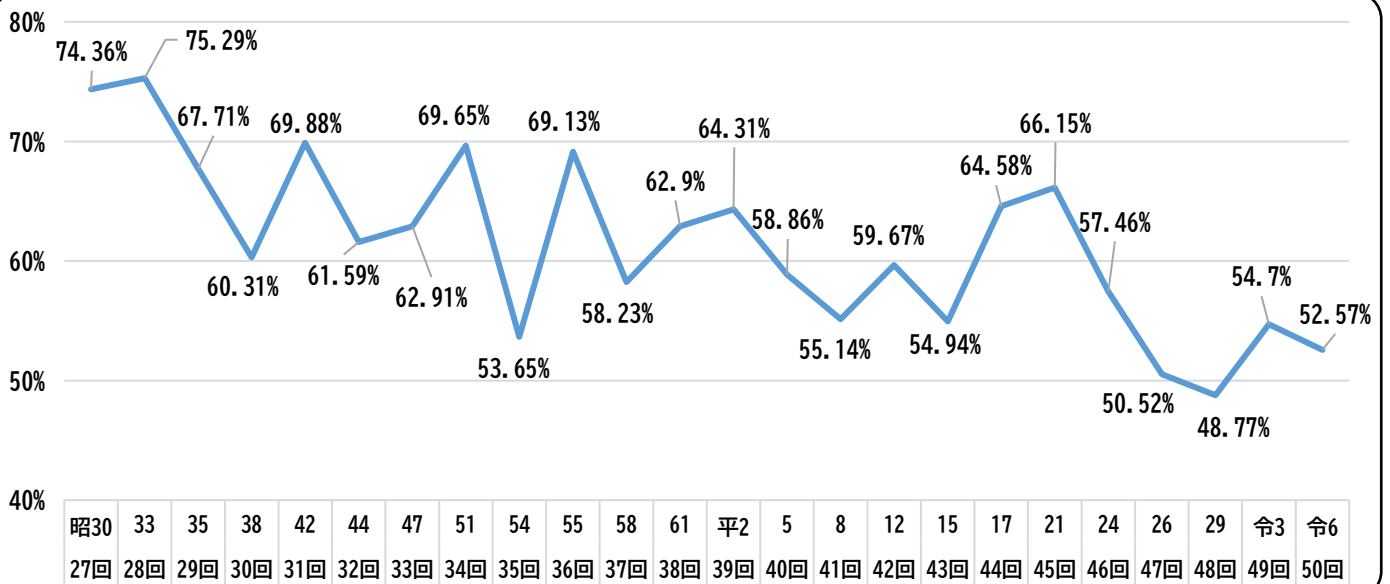


◎自由意見欄：政治や選挙について日頃から感じていること、またはこのアンケートに回答して感じたこと等、自由にご記入ください。

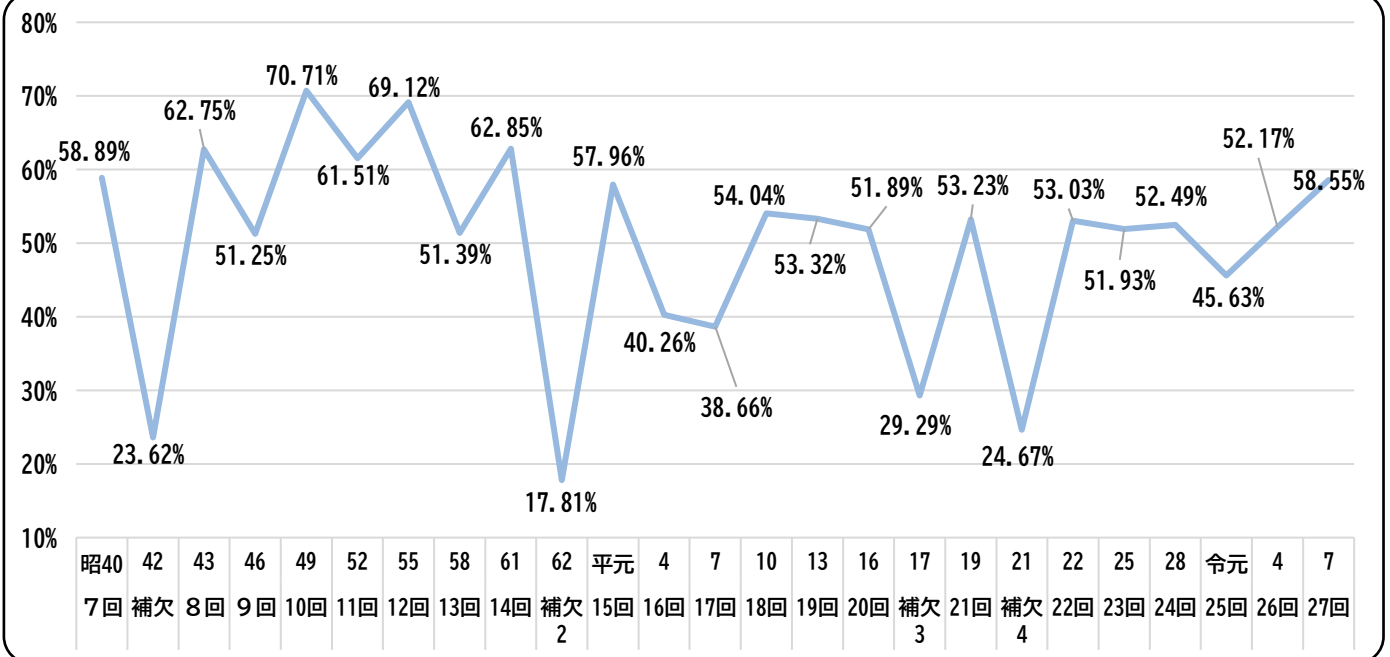
ご協力ありがとうございました。

6 資 料

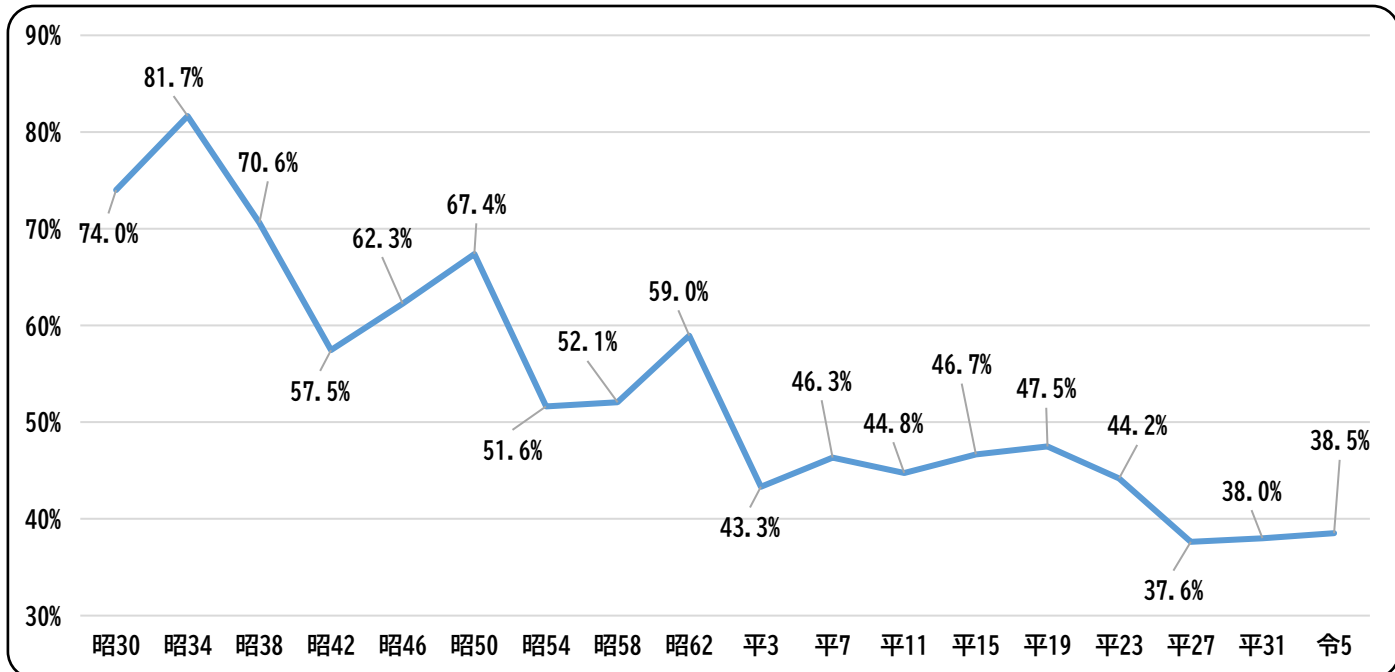
(1) 衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移（大和市）



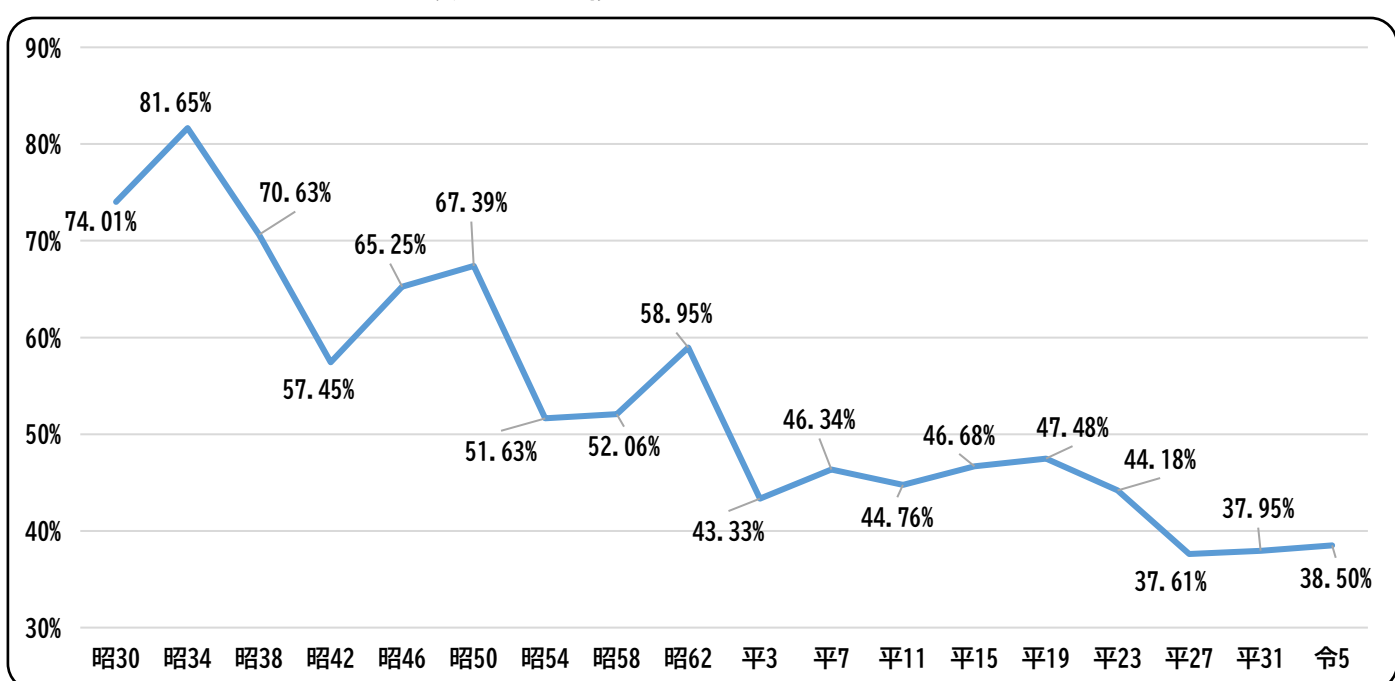
(2) 参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移（大和市）



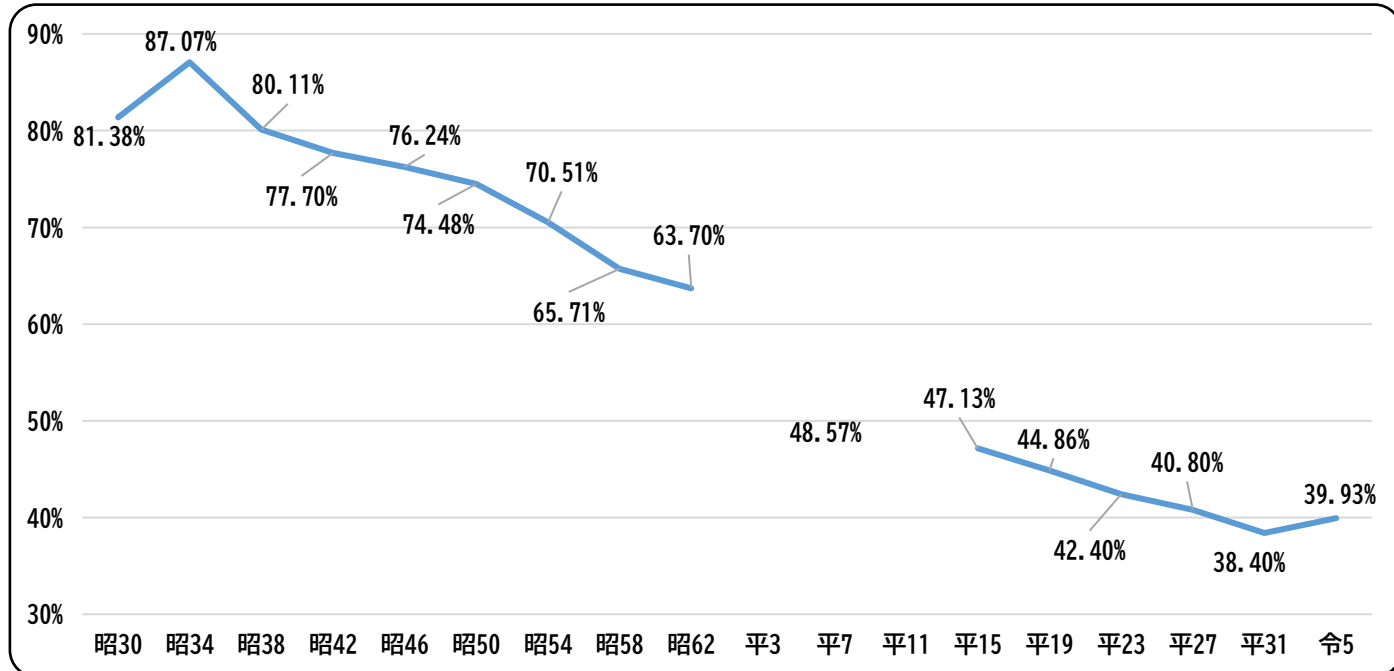
(3) 神奈川県知事選挙投票率の推移（大和市）



(4) 神奈川県議会議員選挙投票率の推移（大和市）

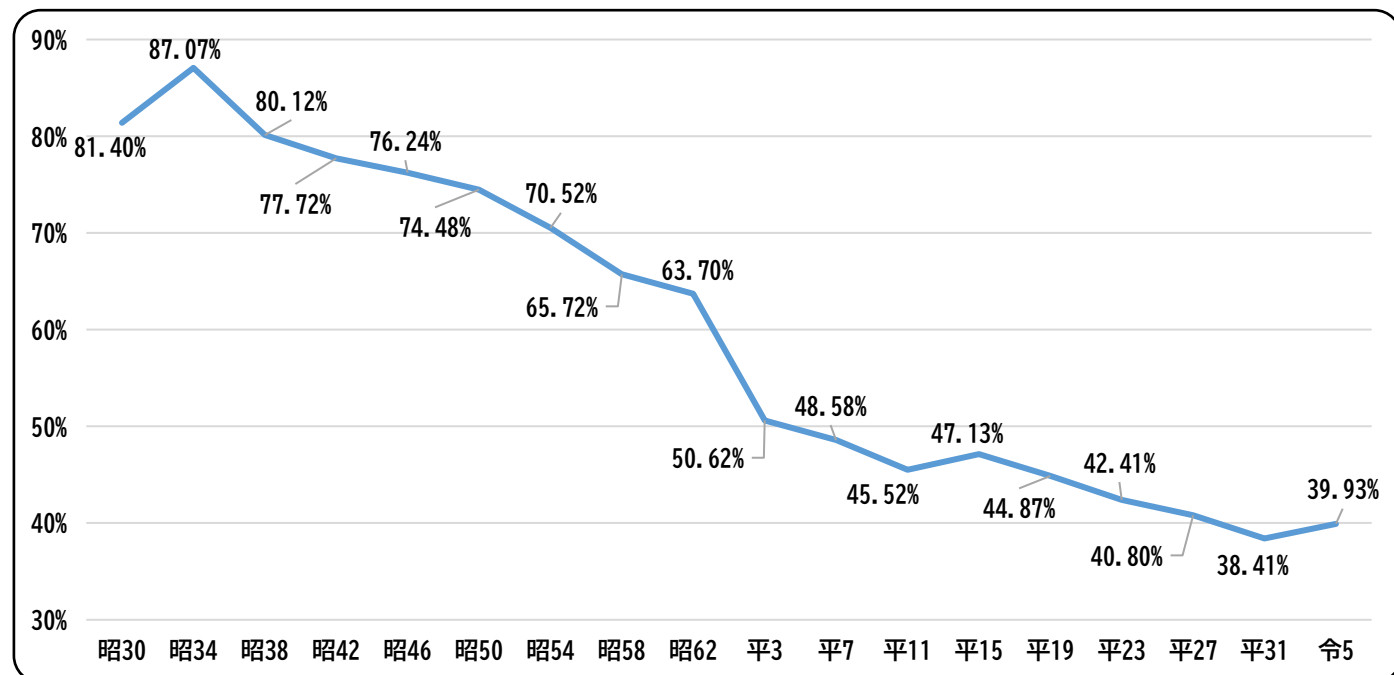


(5) 大和市長選挙投票率の推移



※平成3年及び11年は無投票

(6) 大和市議会議員選挙投票率の推移



☆ み ん な の 一 票 大 切 に ！ ☆



明るい選挙キャラクター「選挙のめいすいくん」